
婦人会報

令和六年
8 月 2024 年
立教187年



天理教婦人会旭日支部

通巻542号

2024 7/27-8/4



こども おぢばがえり



立教187年こどもおぢばがえりが、7/27～8/4まで開催されました。全国から大勢の方々がおぢばに帰ってきて下さいました。

連日の暑い中、大教会では、多くの方が勇んで受け入れひのきしんをつとめて下さり、誠にありがとうございました。

また、ひのきしんにあたり、ふきんや洗剤も届けて下さり、ありがとうございました。



キラリと光る汗を流しながら、食器の後片付けやお掃除など蔭で支えて下さいました。



唐揚げ、ポテトは子供達に大人気でした 破けないよう慎重に 1枚ずついいいに焼き上げたクレープ作り



焼きたてフランクフルト！



女子青年さんが可愛くフルーツとホイップを巻いてできあがり♪





祭 夕づとめの後は、夜のお楽しみ行事♪



祭 輪投げや射的にボールのトンネル たくさん遊べました



SLに乗って出発進行！

何匹釣れたかな？



ピッキーとりボンに会えたね♡



クリアするぞ～！



天理カレーは美味しいね！



旭日鼓笛バンド 銀賞 ポンポン 優秀演技賞



素敵な演奏がおちばに響き渡りました♪ 暑い中最後まで、みんなよく頑張りました！
皆様のお力添え応援ありがとうございました。

諭達第四号発布を戴いて

諭達の中のお言葉を説明しよう

～お言葉の意味を知ってる?～ vol.7



たすけ一条

一般的に「たすけ」とは、他のものを助勢する意味であり、「一条」とは「ひとすじ」「ひたすら」と同義です。天理教では「たすけ一条」という言葉で、「たすけたいとの心だけである」、「たすけのために専心すること」という意味で使われます。親神様は、子供である人間をたすけたい親心でおられます。このお道を始めたのもこの親心からであります。したがって、人間も同じ心になることが大切です。人にたすかってもらいたいという心で日々を歩むことを意味しています。人をたすけるといふのは、たすけの主は自分ではなく親神様です。人をたすけさせて頂く根本は、親神様を信じ、親神様の思召をとりがせて頂くことです。

ぢば

「ぢば」は、親神様が最初に人間を造られたところです。その証拠に「かんろだい」が据えられて、礼拝の目標（めどう）としています。私たち人間の親である親神様のお鎮まり下さるところであり、全人類のふるさとです。ですから、ぢばを訪れることをおぢばに帰る「おぢばがえり」といい、ぢばに帰ってきた人を「ようこそおかえり」とお迎えするのです。そして、ぢばはあらゆるご守護の源です。親神様は私たちの心の真実をお受け取り下されて、どんなご守護も下さるのです。

陽気ぐらし

晴れやかな喜びに包まれた楽しみづくめの暮らしのことを言い、「陽気ぐらし」こそ、私たちの究極の目的です。親神様によって生かされていることのありがたさ、かしもの・かりものの理の尊さを知り、互いに立て合いたすけ合って、周りの人々と、共に喜び共に楽しむ暮らしです。その姿を見て、親神様も共に楽しんで下され、神も人も一つに結び合う真の「陽気ぐらし」の世界が現れるのです。どんな境遇にあっても、明るく勇んだ陽気な心で日々を通らせて頂くことができます。

身上事情

私たちの体は親神様からお借りしているものです。親神様の方から言えば「貸しもの」、私たちの方から言えば「借りもの」です。心だけは「我がもの」として自由に遣うことをお許し頂きました。親神様は「日々遣う心どおりに、かしものを貸し、心どおりの守護をしている」と教えて下さっています。

かしものである体のことを「身上」または「身の内」と言います。さらに発展して、病気やけがなどの場合に「身上を与えて頂いた」などと言うように、身上＝病気という使い方もあります。しかし、本来は悪い意味のものばかりではなく、健康な体、ご守護をもって日々お貸し頂いている体という、感謝・喜びの心が込められているのが「身上」という言葉です。「事情」とは一般に、事のありさま、様子という意味で、お道では私達の周りの一切の事柄について「事情」という言葉を使います。特に、家庭のもめごと、仕事上の不都合、災害といった、いわゆる「事情のもつれ」「事情の悩み」のことを「事情」という場合も多いのです。「事情」もまた親神様によって与えられ、見せられるものです。身上・事情の上におかけ下さる親神様の深いご守護のありがたさに、日々感謝しましょう。

参考文献：「天理教用語辞典」養徳社、「天理教辞典」道友社、
「心をつなごう」奈良教区婦人会、天理教婦人会HP

◎次回は論達5ページ目のお言葉について紹介させていただきます。

熱中症予防と対策

熱中症警戒アラートが連日発表され、湿度の高い暑い日が続いています。この夏を健康に過ごすために熱中症を予防しましょう。



喉が渴く前にこまめな水分補給

一日あたり 1.2 L



(コップ約6杯分)

- 汗をかいたら、塩分も補給しましょう。
- 朝起きたとき、入浴後はコップ1杯分水分補給。
- がぶ飲みではなく、少しずつこまめに。



【適した飲み物】

- 水
- 経口補水液、スポーツ飲料
- 麦茶、黒豆茶
- 無糖の炭酸水

※カフェインの入った飲み物は、利尿作用があるためほどほどに。



十分な睡眠と食事

- 夜間十分な睡眠がとれなかった場合は、15分ほどの短い昼寝も効果的。
- 朝食をしっかり摂る。

夏バテに役立つ食べ物

【ビタミンB1】疲労やだるさ、食欲不振の予防

豚肉・うなぎ・げんまい・ごま

【タンパク質】筋肉など体の元になる栄養

肉類・魚介類、卵、大豆製品、乳製品

【ビタミンC】夏は不足しやすい

レモン・ブロッコリー・パプリカ



暑くなったら冷やす

- 脇の下、太ももを冷やすと効果的。



エアコン・扇風機を活用

- 室温は28度を目安に。



適度な運動

- 朝、太陽の光をあびる。
- 軽いストレッチや筋トレをする。

九月例会案内

日時 九月五日(木) 午前十時
 場所 旭日大教会
 内容 教祖祭

お願いづとめ

ておどり(前半下り)

おふでさき拝読

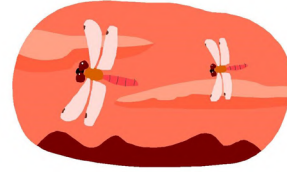
お話(おふでさき 第十六号より)

旭波委員会 前田 理恵)

昼食

委員長後継者及び教会子弟夫人講習会のご案内

日時 八月二十五日(日) 十二時三十分から十四時四十五分
 場所 旭日大教会 会議室
 内容 夫婦について教えから学ぶ
 ※申し込み締切日は八月二十日です。各教会、旭日婦人会より
 へお申し込み下さい。



八月月次祭終了後、午後一時から二時まで、女鳴物の練習をさせていただきます。ご希望されます方は教会を通じて二十二日まで、鳴物係へご連絡下さい。
 ※琴を希望の方は琴爪をご持参下さい。

九月例会役割

扈者	藤井 綾子	森下由紀子
賛者	奥村はる恵	山本ひとみ
指図方	木村 昌子	
地方	前半	
笛	高天	
ちゃんぽん	鷺尾	
拍子木	鷺尾	
太鼓	天満	
すり鉦	大牧	
小鼓	大牧	
琴	天満	
三味線	天満	
胡弓	天満	

八月月次祭炊事当番

教会	竹ノ宮	旭道
係員	藤井 優子	庄司裕美子

◇午前九時までにエプロン三角巾を持参の上お越し下さい。

八月月次祭託児ひのきしん当番

教会		
係員	南 とみみ	松田美左与

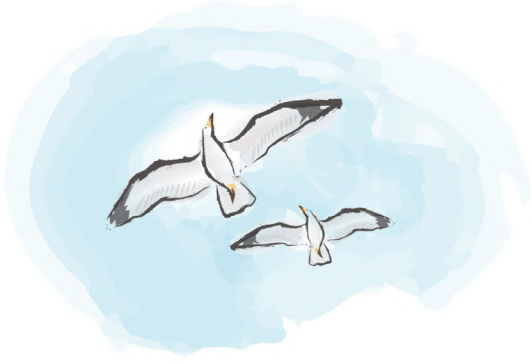
◇午前九時十五分より祭典終了までです。



便り楽しみ

渡りて、便り楽しみ、事情早く返事聞かして
くれるよう。

(おさしづ 明治25年8月25日)



発行日 令和六年八月五日

発行者 岡本道子

発行所 天理市田井庄町一二八
天理教婦人会旭日支部